

## ロケハンチェックリスト

できれば撮影当日以前に下見をする。できなければ、早めに現地に行って準備できるようにする。

### 講演会など屋内の場合

- 講演会等の会場では、カメラを設置する場所を決める。登壇者を適切な大きさで取れるか。観客がカメラやコード、三脚につまづいたり、倒れたりしないよう動線を確保する。また、できる限り、観客の視線を遮らないような場所が望ましい。
- 音声はきれいに取れるか。会場の音響設備、マイクの音声はどのスピーカーから出るかなどチェック。ワイヤレスマイクを使う場合は受信機・発信機のチェック。
- 看板や会場の様子、周囲の風景・光景など、のちの編集のために撮影したほうがよいものはないか。
- (利用できる場合は) 電源、延長コードの有無などの確認。
- Ustreamなどで生中継を行いたい場合はwifi環境のチェック。

### 屋外イベントの場合

- デモなど屋外イベントの場合は、何よりも交通事故に十分留意する。撮影者はカメラを覗きこんで視野が狭くなるため、通行人や車にぶつからないようカメラをとる人の安全を確保するパートナーが同行することが望ましい。
- 雨などに備え機材用のカバーなどが必要になるときもある。天気予報にも注意する。
- 歩道橋など、デモやイベントが行われる場所の近くの少し高い場所を見つけておくと、人ごみでも全体像が撮りやすい。

Women's action